



2015年3月 おかげさまで
創業40周年を迎えます

2015年3月期 第1四半期決算について

2014年8月8日



パンチ工業株式会社

(証券コード: 6165 東証第一部)

第1四半期 決算ハイライト

消費税率引き上げや中国の春節の影響がさほど大きくなかったため、連結ベースで売上、利益ともに前年同期を大幅に上回る結果となった。

売上	連結	連結売上高は、前年同期比127%、17億円増収の79億円になった。
	日本	電子部品・半導体が伸長、食品・飲料関連等の新分野も好調で、前年同期比で二桁増となった。
	中国	電子部品・半導体や家電・精密機器など幅広い業種で復調し、前年同期を大幅に上回った。
	その他	新規連結にともない東南アジア、欧州の売上が伸び、さらにインドの売上拡大で前年同期で大幅増となった。
利益		仕入れコストの低減及び国内工場の生産性向上による原価率の低減に加えて、単体収益体質改革活動の成果もあり、営業利益は2.5億円増の4.1億円となった。 同時に、経常利益、四半期純利益も前年同期を大きく上回った。
ネット資金		配当金支払はあったものの、期首からは1.4億円の改善。



第1四半期 決算概況

中期経営計画「バリュークリエーション15」の取組み成果もあり、好調なスタート。

(単位:百万円)

	2014年3月期 第1四半期累計	2015年3月期 第1四半期累計	前年同期差	前年同期比
売上高	6,199	7,900	1,700	127%
営業利益	2.6% 159	5.2% 412	252	259%
経常利益	1.8% 110	4.1% 327	216	296%
四半期純利益	1.2% 73	3.6% 280	206	380%

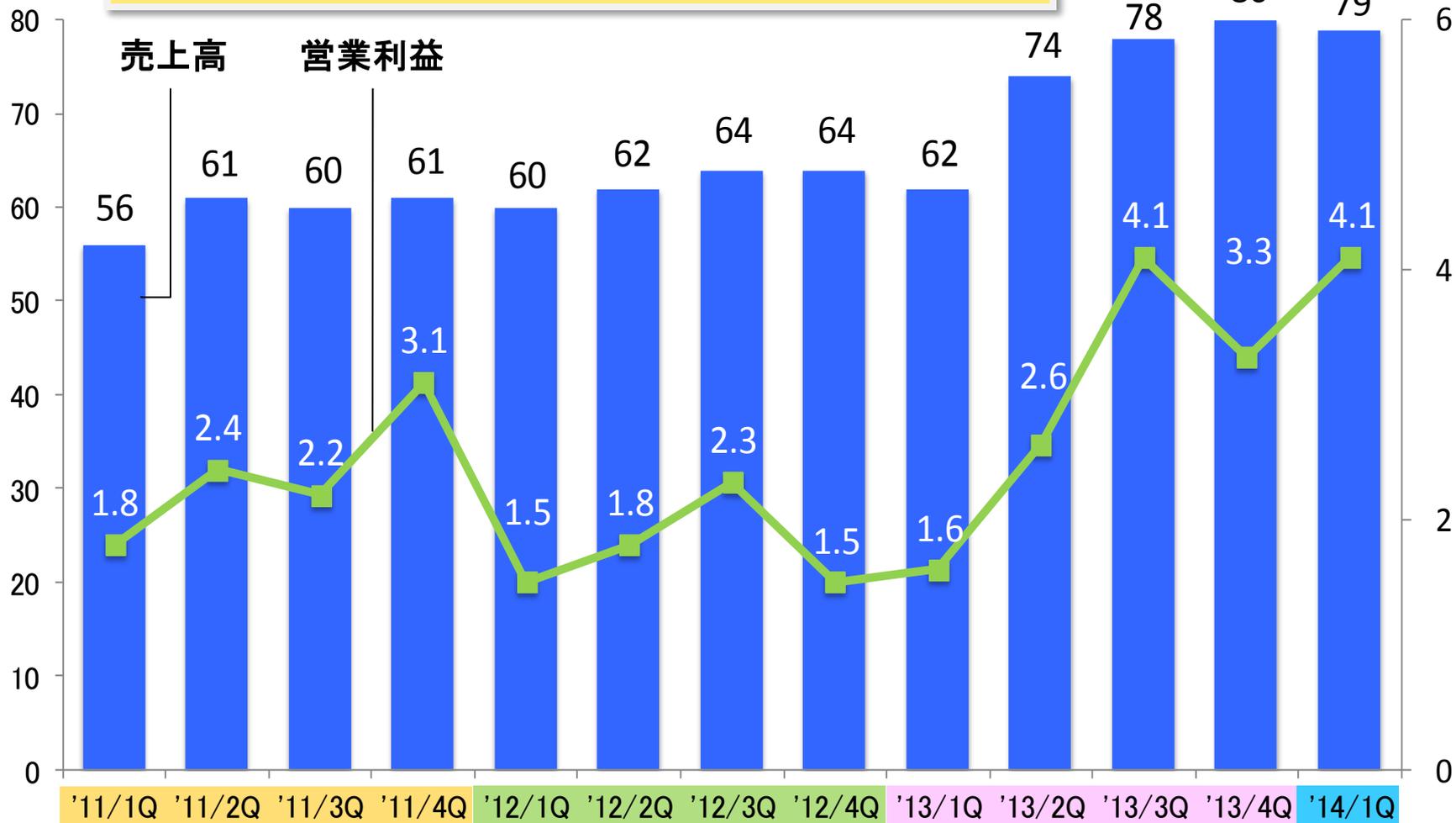


売上高と営業利益の推移

売上高
(億円)

消費税率引き上げや中国の春節休暇があったものの、
売上高、営業利益ともに最高水準を維持。

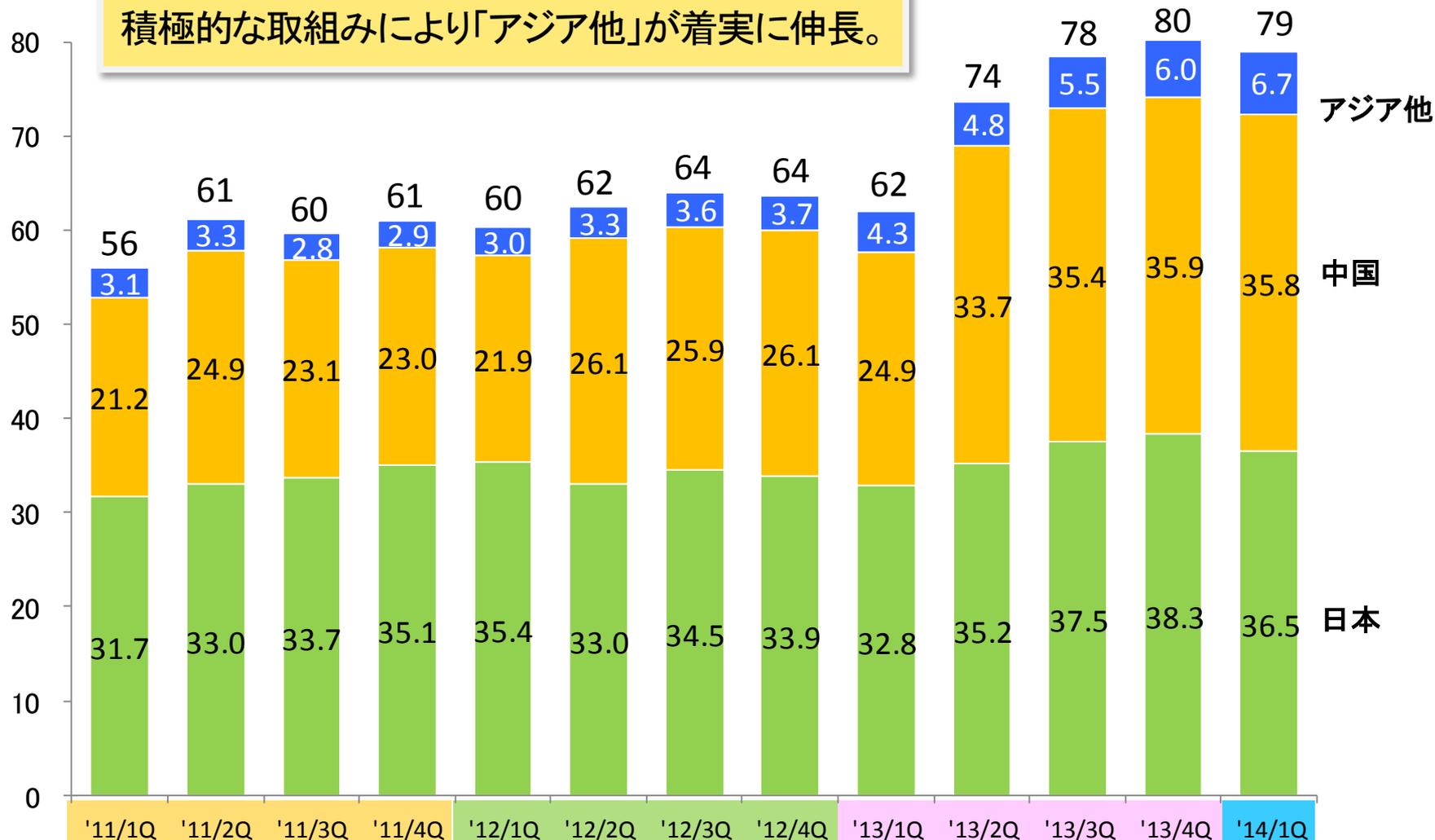
営業利益
(億円)



地域別売上高

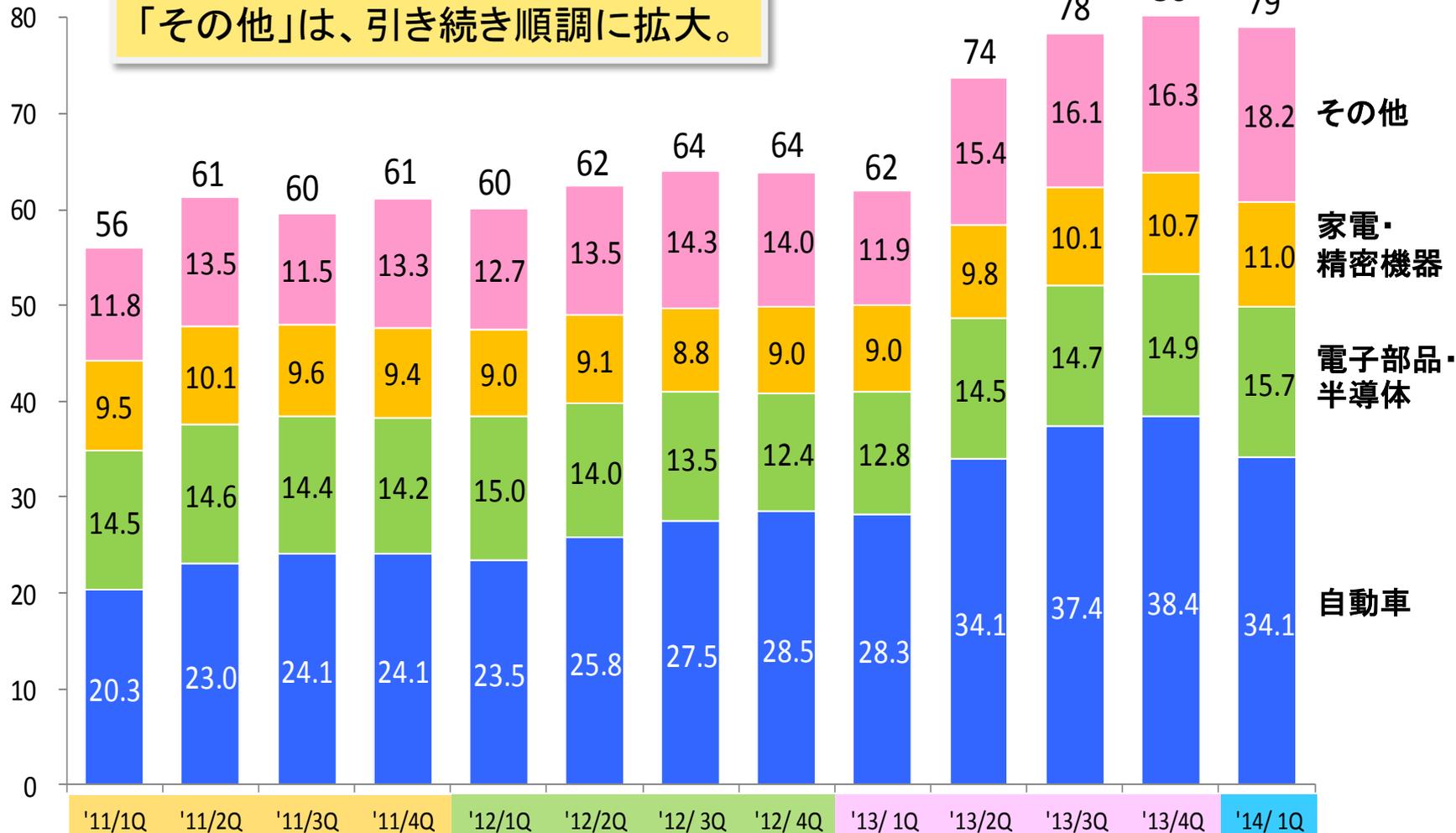
売上高
(億円)

東南アジアグループやグローバル事業本部の積極的な取組みにより「アジア他」が着実に伸長。



業種別売上高

売上高
(億円)

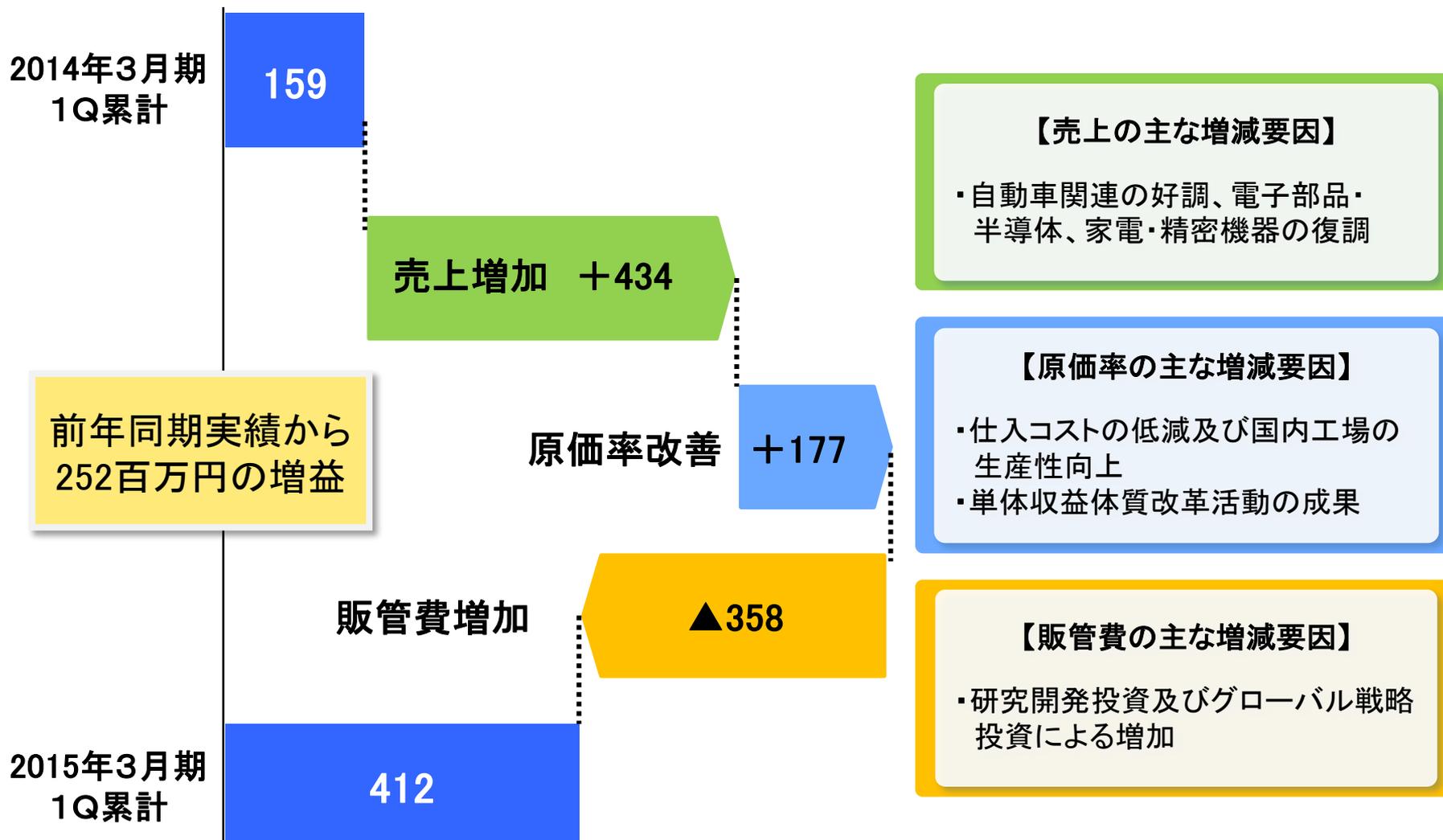


(業種別売上高のグラフは、業種区分見直しに伴い遡及修正をしております。)



営業利益増減

(単位:百万円)



財務状況

(単位:百万円)

	2014年3月期末	2015年3月期 第1四半期累計	比較増減
総資産	24,471	23,936	▲534
総負債	15,108	14,662	▲445
うち有利子負債	7,743	7,783	39
純資産	9,362	9,274	▲88
ネット資金	▲6,216	▲6,077	138
自己資本比率	38.2%	38.7%	0.5ポイント

	2014年3月期 第1四半期累計	2015年3月期 第1四半期累計	比較増減
設備投資額(無形固定資産含む)	112	169	57
減価償却費(無形固定資産含む)	255	303	48



2015年3月期 業績予想

(単位:百万円)

	第2四半期			通期		
	期初予想 (5月公表)	修正 予想	修正 予想差	期初予想 (5月公表)	修正 予想	修正 予想差
売上高	15,231	16,548	1,317 108.6%	31,500	32,819	1,319 104.2%
営業利益	628 4.1%	841 5.1%	213 133.9%	1,405 4.5%	1,619 4.9%	214 115.2%
経常利益	544 3.6%	727 4.4%	183 133.6%	1,256 4.0%	1,439 4.4%	183 114.6%
当期 (四半期) 純利益	375 2.5%	562 3.4%	187 149.9%	848 2.7%	1,039 3.2%	191 122.5%

2015年3月期 配当予想

中間 10円 + 期末 10円 = 20円





2015年3月 おかげさまで
創業40周年を迎えます

参考資料

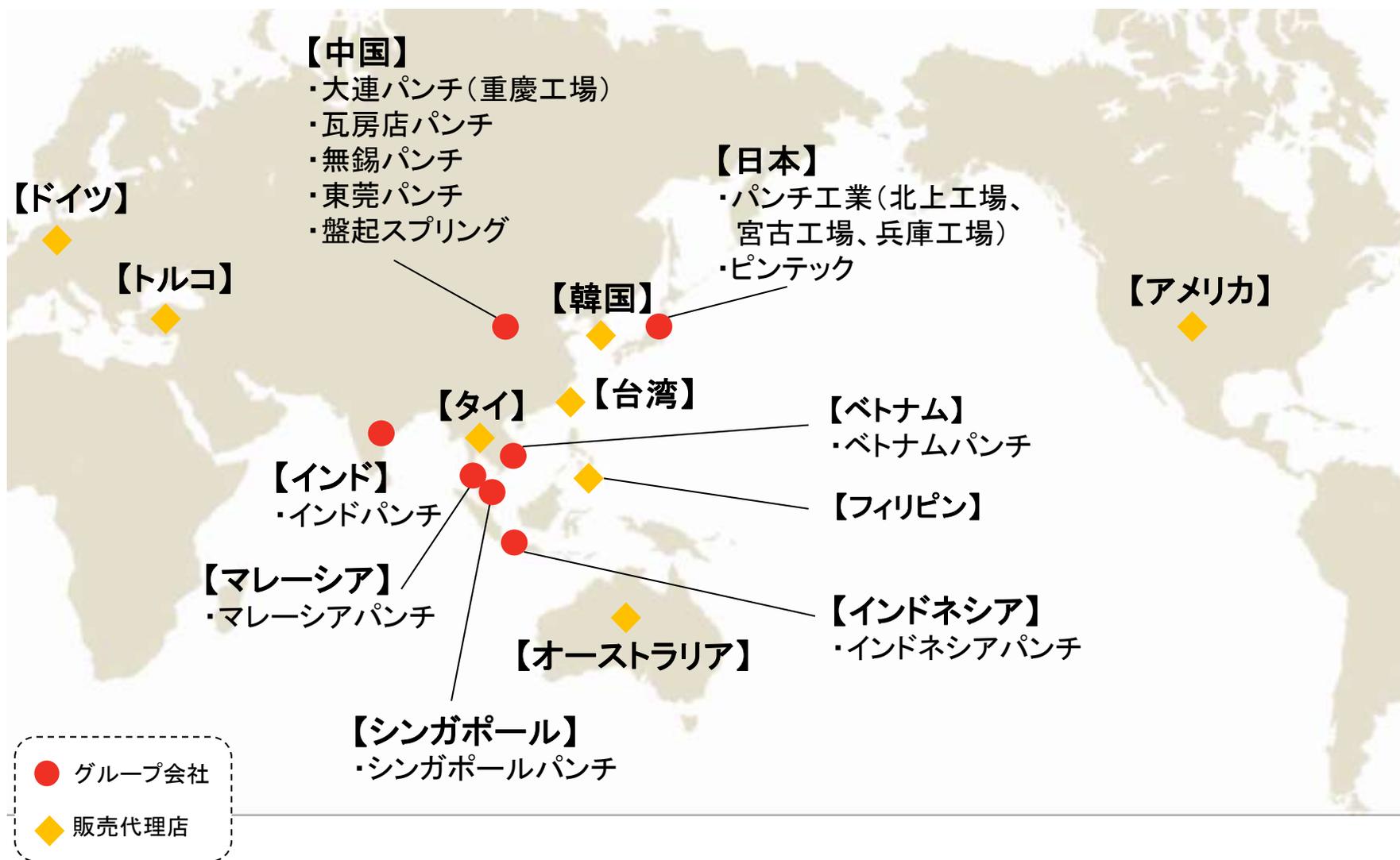
会社概要

会社名	パンチ工業株式会社
本社所在地	東京都港区港南二丁目12番23号
設立	1975年3月
資本金	15億7,154万円
従業員数	3,761名(グループ連結、2014年3月末現在)
生産拠点	北上工場(岩手県北上市) 宮古工場(岩手県宮古市) 兵庫工場(兵庫県加西市)
グループ会社	株式会社ピンテック(山形市) 盤起工業(大連)有限公司(中国) 盤起工業(瓦房店)有限公司(中国) 盤起工業(無錫)有限公司(中国) 盤起工業(東莞)有限公司(中国) 盤起弾簧(大連)有限公司(中国) PUNCH INDUSTRY INDIA PVT. LTD.(インド) PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.(マレーシア・ペナン) PANTHER PRECISION TOOLS (KL) SDN. BHD.(マレーシア・クアラルンプール)※ PUNCH INDUSTRY SINGAPORE PTE. LTD.(シンガポール) PUNCH INDUSTRY VIETNAM CO. LTD.(ベトナム) PT. PUNCH INDUSTRY INDONESIA(インドネシア)

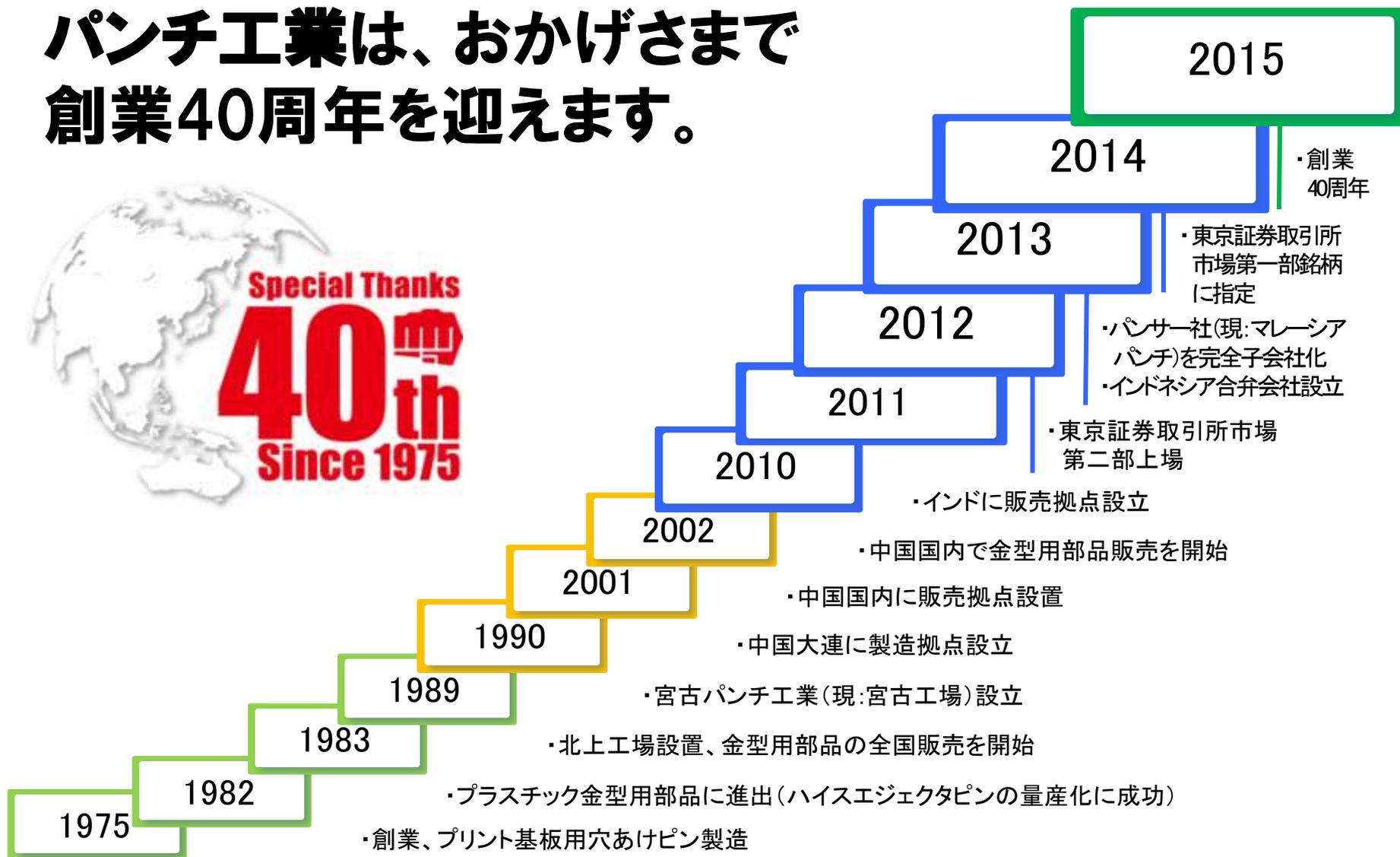
※PANTHER PRECISION TOOLS (KL) SDN. BHD. は、PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.に事業を移管したため、清算手続中でありませぬ。



パンチグループのネットワーク

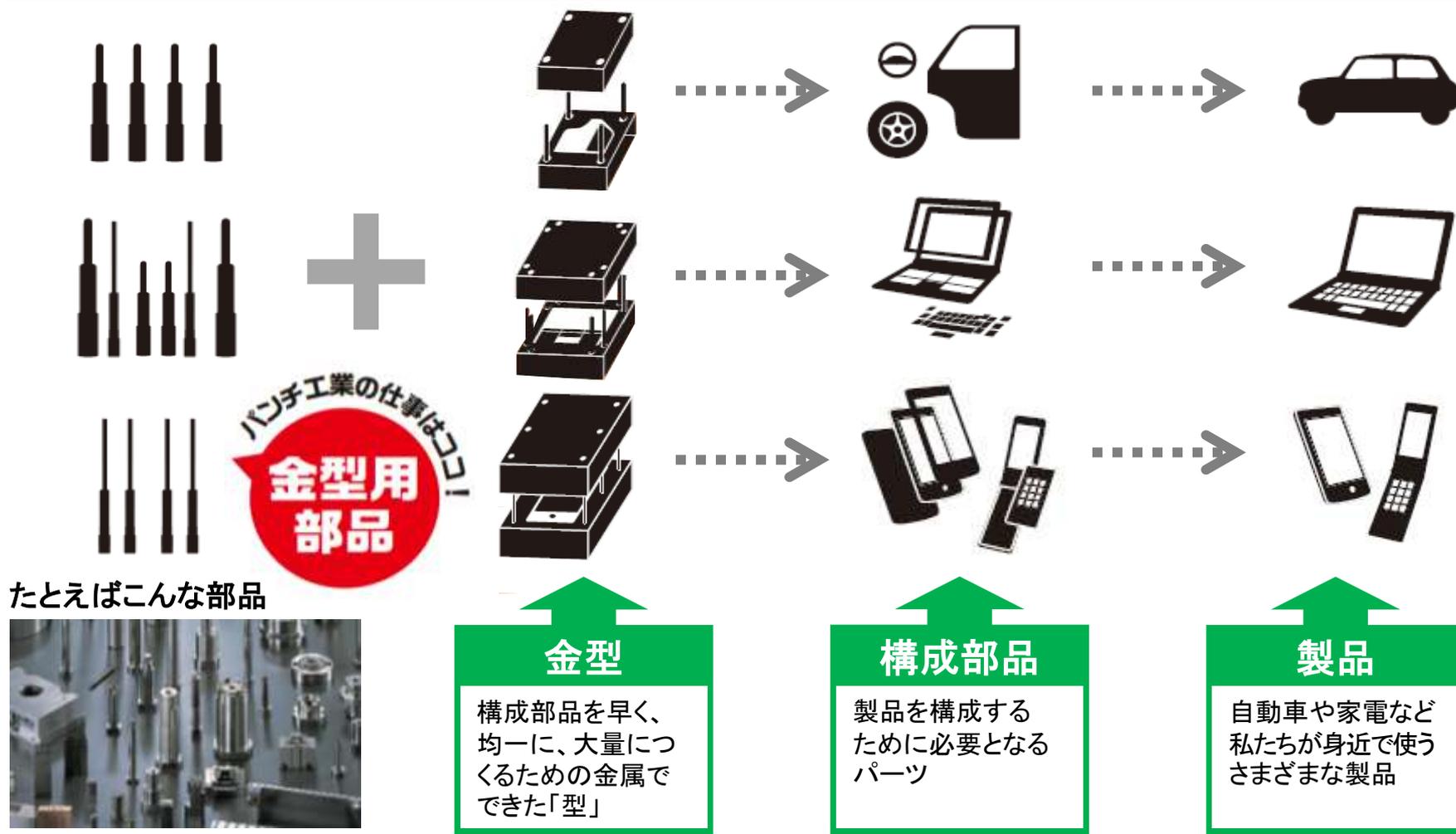


パンチ工業は、おかげさまで 創業40周年を迎えます。

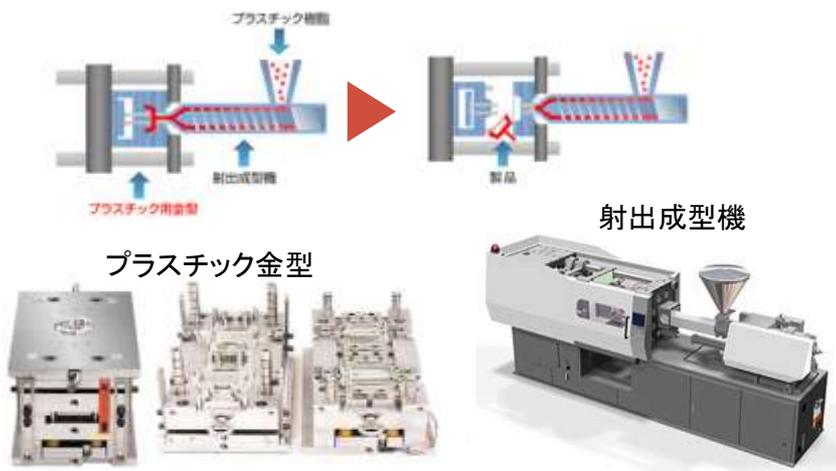


事業内容

金型を構成するために、なくてはならない多種多様な精密部品の製造・販売



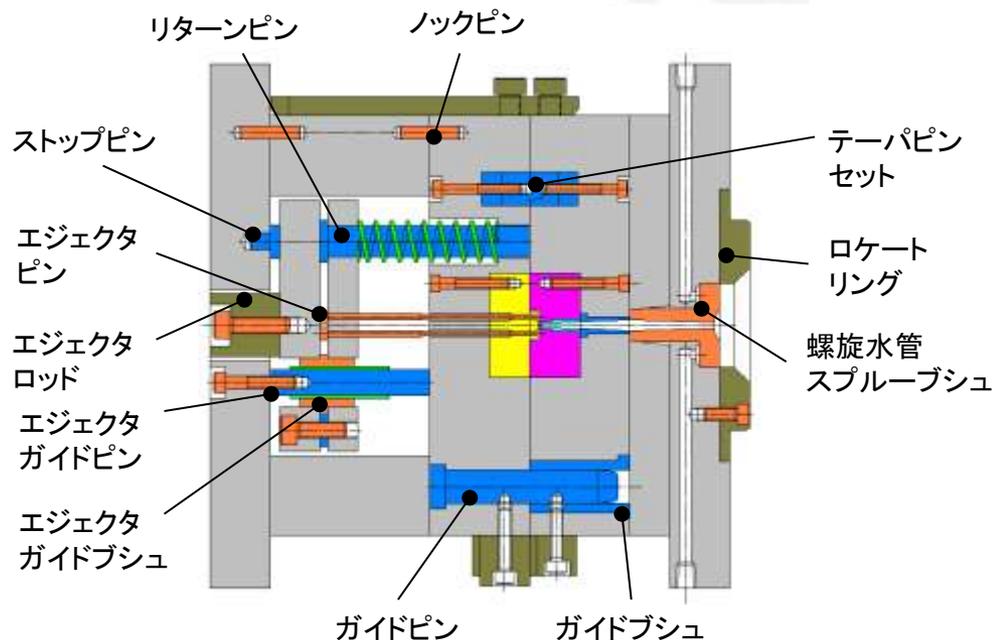
プラスチック金型と金型用部品



エジェクタピン



スプルーブシュ・ロケートリング



●プラスチック金型用部品について

プラスチック金型とは、携帯電話やデジタルカメラの外装など、多くのプラスチック製品の製造に用いられる金型であり、加熱溶融したプラスチック樹脂を、射出成型機に実装された金型に注入し、冷却、固化することにより製品が作られております。

当社グループでは、広範なプラスチック製品の射出成型用金型に組み込まれるエジェクタピン、スプルーブシュ等のプラスチック金型用部品の製造・販売を行っております。

エジェクタピン・・・ 成型品を金型から離し、突き出すための部品

スプルーブシュ・・・ 射出成型機の射出ノズルから溶融したプラスチックを金型へ流し込むための部品

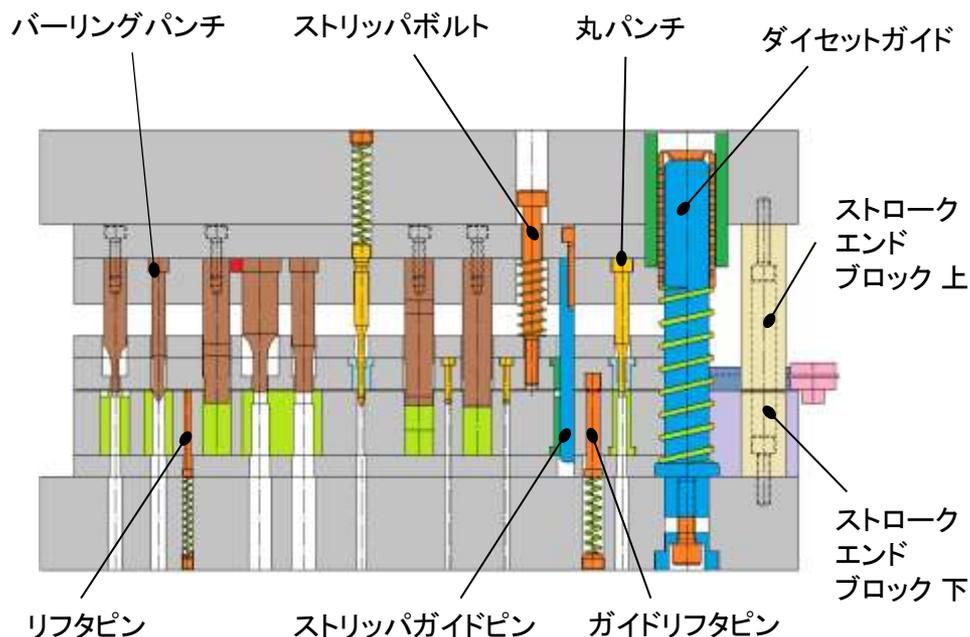
プレス金型と金型用部品



プレス金型

パンチ

ダイセットガイド



●プレス金型用部品について

プレス金型は、プレス機(上下運動する機械)に金型を装着し、上下に分かれた金型の間に材料(金属の鋼板)を入れ、プレス機を稼働することにより、金型で型どられた製品が出来上がります。

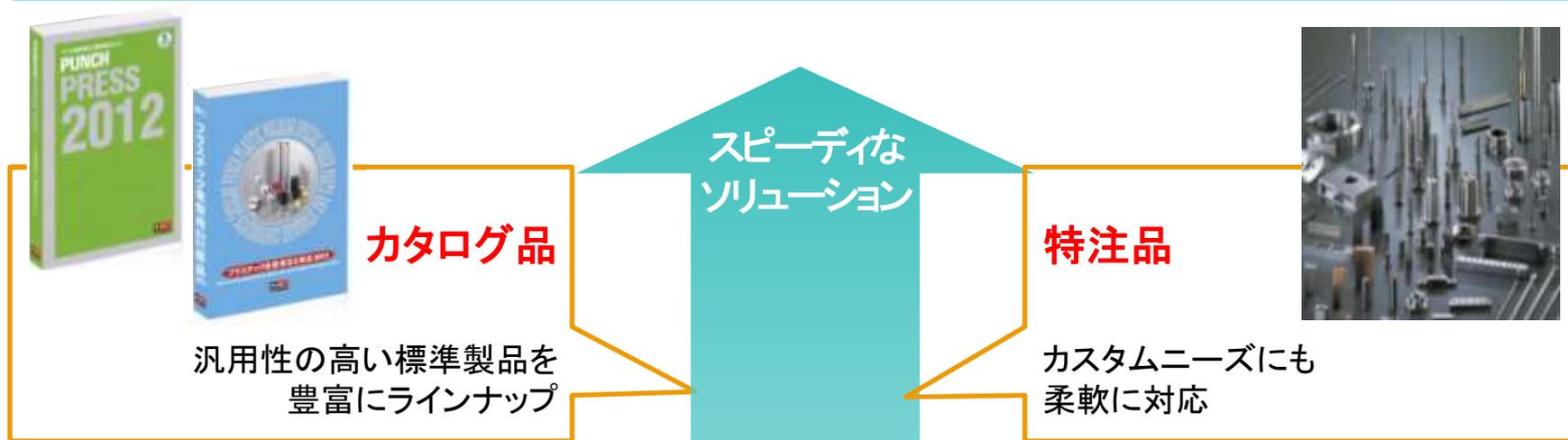
当社グループでは、自動車、家電、精密機器などを大量生産するために必要な、プレス加工で使用される金属の鋼板を打ち抜く際に使用するパンチ・ダイ部品、金型の上下の動きを保持するガイド部品等のプレス金型用部品の製造・販売を行っております。

- パンチ…………… パンチは材料に推しつけて使われる工具で、通常はダイと対で使われ、材料に穴をあけたり、形状を転写する部品
- ダイセットガイド… 上型と下型の関係を正しく保つために使用する部品



パンチグループの強み

お客様に高い満足度を提供



一気通貫の生産体制

1,700台の設備で幅広い対応力

お客様密着型の営業体制

きめ細かな対応・提案力

高い技術力

創業以来培ったノウハウとたゆまぬ研究開発



世界のパンチへ



金型部品業界での
トップブランドを確立し
製販一体企業としての
優位性を活かした
高収益企業を目指す

環境・社会への取組み

環境への取組み

■パンチ工業の「環境にやさしい商品」

当社は、「環境にやさしい商品」とは何かを徹底的に考え、積極的に取り組んでおります。
私たちが最も重視するのは、環境化学物質の削減です。RoHS指令を上回る当社独自の基準に基づいて環境負荷の少ない「環境にやさしい商品」を製造しお届けしています。

社会への取組み

■地域活動



清掃・美化活動

当社グループでは、社会貢献活動の一環として本社事業所及び各工場にて、定期的に清掃活動を実施しています。



マラソンボランティアに参加

「いわて北上マラソン(2012、2013)」では、北上工場の従業員及びその家族が給水ボランティアを担当し、大会運営をサポートしました。

■エコキャップ運動



2012年よりNPO法人エコキャップ推進協会が活動を展開するエコキャップ運動に参加しています。ペットボトルのキャップを回収し、その売却益をワクチン購入にあてるという活動です。

本日はありがとうございました。

IRに関するお問い合わせ先

パンチ工業株式会社 総務部コーポレート課
電話：03-5460-8237 e-mail：info-corp@punch.co.jp



将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。